

2008 年度 委員会 事業報告書

総務広報委員会

委員長 永江 一成
担当専務理事 加登住 亮

2008 年度 委員会報告

回数	月 日	委員会並びに事業開催場所	出席者数	欠席者数
1	10月 2日	第1回委員会・東西コミセン	3名	3名
2	10月17日	第2回委員会・JＣルーム	2名	4名
3	10月24日	第3回委員会・JＣルーム	4名	2名
4	11月20日	第4回委員会・JＣルーム	3名	3名
5	12月 7日	第5回委員会・JＣルーム	3名	3名
6	12月18日	第6回委員会・JＣルーム	3名	3名
7	1月16日	1月通常総会	31名	8名
8	1月27日	南大邱青年会議所訪日対応	37名	12名
9	2月26日	2月度(社)日本青年会議所九州地区熊本ブロック協議会会長公式訪問3LOM合同例会	122名	12名
10	3月 9日	第7回委員会・JＣルーム	3名	3名
11	4月14日	第8回委員会・JＣルーム	4名	2名
12	6月 7日	南大邱青年会議所訪日対応	41名	5名
13	6月18日	6月度次年度役員選考委員選出例会	26名	16名
14	7月30日	第9回委員会・JＣルーム	3名	3名
15	8月20日	第10回委員会・JＣルーム	4名	3名
16	8月21日	8月通常総会	26名	13名
17	11月28日	第11回委員会・JＣルーム	3名	3名
18	12月 3日	第12回委員会・熊本コピー	2名	4名
19	12月 6日	12月度卒業式例会	35名	13名

事業内容報告

当委員会は例年通り1月通常総会に始まり、新年会での南大邱JＣ訪日対応、2月には3LOM合同例会が八代JＣで開催され、地区大会を控えた八代JＣメンバーの熱意のこもった運営に強く感動しました。6月には次年度役員選考委員選出例会、南大邱JＣとの姉妹締結30周年記念式典が、創立50周年記念式典と併せて行われ、その際に再度南大邱JＣ訪日対応を担当いたしました。この際は、委員会の枠を超えて、田中事務局長にメインで動いていただきました。12月の卒業式例会においては、長年人吉JＣを支えていただいた、鳥越英夫君をはじめ、早田雅夫君、岩本泰一君の三名が卒業されました。また本年度、当委員会は「情報発信」をテーマにホームページを活用し、内外に対して、人吉JＣの理念や運動情報を発信していくという担いを受けてスタートしました。しかしながら、このメインテーマである「情報発信」に関しては、残念ながら満足いく結果を残すことはできませんでした。また「あいさつ運動の推進」を通年で計画していました。いろいろと手法を模索してきましたが、実行までには至りませんでした。委員長として、委員会という組織を動かしていくことの難しさを大いに感じた一年間でした。加登住専務理事、永池副委員長、そして全てのメンバーの支えがあったからこそ、この一年間を無事乗り越えられたと思います。心より感謝申し上げます。

担当専務理事統括所見

当委員会では、議案が途切れることの無い様々な例会、事業を担当していただきました。まずもって、永江委員長をはじめ委員会メンバーの皆様、お疲れさまでした。ホームページの運営については、度々の更新をしていただきました。ある程度の成果を残せたのではないかと思います。反省点では、都市民やマスコミを含めた包括的な「情報発信」が十分とは言えなかった点です。人吉JＣが進めている活動・運動を点ではなく線で伝えていけるよう工夫していく必要を感じました。また、年間計画にあった「あいさつ運動の推進」は、校長経験者をお呼びしての委員会も開催し検討を重ねましたが、事業計画までは至りませんでした。例年に無く2回の南大邱JＣ訪日対応、2回の総会、3月例会、6月例会、卒業式とスムーズに運営していただきました。総務広報委員会は、最多の事業・例会を担当する委員会となりましたが、永江君は今年初の委員長にも関わらず、粘り強く坦々と例会・事業を行っていただきました。これだけ多くの計画を遂行できたのも委員長、そしてメンバーの皆様のお熱意あってこそと思います。本当にお疲れさまでした。

2008 年度 年間事業決算書

総務広報委員会

(収入の部)

科目	予算金額	決算金額	差 額	備 考
事業費	703,500	695,020	8,480	
収入合計	703,500	695,020	8,480	

(支出の部)

科目	予算金額	決算金額	差 額	備 考
1月通常総会	6,000	4,500	1,500	
2008年度版総合基本資料作成	170,000	170,000	0	
2月度(社)日本青年会議所九州地区熊本ブロック協議会会長公式訪問3LOM合同例会	52,000	50,000	2,000	
6月度次年度役員選考委員選出例会	6,000	2,100	3,900	
8月通常総会	6,000	4,500	1,500	
12月度卒業式例会	20,000	19,000	1,000	
南大邱青年会議所訪日対応	160,000	128,793	31,207	
ホームページ作成・更新・管理	283,500	236,250	47,250	
あいさつ運動の推進	0	0	0	事業未実施
予備費	0	0	0	
支出合計	703,500	615,143	88,357	
	余剰金	79,877		

2008年度委員会事業報告書

地域ビジョン委員会

委員長 富山 孝治
担当副理事長 石蔵 宗久

2008年度委員会報告

回数	月 日	委員会並びに事業開催場所	出席者数	欠席者数
1	10月26日	第1回地域ビジョン委員会・JCLルーム	3名	4名
2	11月13日	第2回地域ビジョン委員会・JCLルーム	4名	3名
3	12月7日	第3回地域ビジョン委員会・JCLルーム	2名	5名
4	1月26日	第4回地域ビジョン委員会・多良木町石倉交流館	4名	3名
5	1月31日	【セミナー】基礎自治体のあり方を考えるトピセミナー（球磨地域振興主催）	-	-
6	2月6日	【打合せ】人吉市企画部打合せ	-	-
7	3月23日	【打合せ】人吉市企画部打合せ	-	-
8	3月26日	第5回地域ビジョン委員会・球磨地域振興局（基礎自治体のあり方を考える勉強会）	6名	4名
9	4月5日	第6回地域ビジョン委員会・カルチャーパレス	2名	5名
10	4月15日	第7回地域ビジョン委員会・あさぎり町役場	4名	3名
11	4月17日	【打合せ】球磨地域振興局打合せ	-	-
12	4月30日	第8回地域ビジョン委員会・JCLルーム	4名	3名
13	5月14日	【打合せ】球磨地域振興局打合せ	-	-
14	6月17日	第9回地域ビジョン委員会・ジョイフルあさぎり店	4名	3名
15	6月18日	6月度例会アワー「球磨地域のあり方を考える勉強会」東西コメン	26名	16名
16	7月7日	【打合せ】球磨地域振興局打合せ	-	-
17	7月15日	【打合せ】熊本県立大学桑原教対打合せ	-	-
18	7月23日	【打合せ】植薄前免田町長訪問	-	-
19	7月25日	【打合せ】人吉市企画部打合せ	-	-
20	7月28日	第10回地域ビジョン委員会・JCLルーム	4名	4名
21	7月29日	【打合せ】成尾球磨郡町村会長／鶴嶋学芸員訪問	-	-
22	7月31日	シンポジウム会場調査（あさぎり町せきれい館）	-	-
23	8月4日	7月度一般公開例会「球磨地域のあり方を考える勉強会」ポッポ館	73名	12名
24	8月5日	【打合せ】球磨地域振興局打合せ	-	-
25	8月11日	【打合せ】球磨郡町村会事務局訪問	-	-
26	8月11日	【打合せ】成尾球磨郡町村会長訪問	-	-
27	8月20日	【打合せ】球磨地域振興局打合せ	-	-
28	8月20日	【打合せ】熊本県立大学桑原教対打合せ	-	-
29	8月21日	【打合せ】鶴嶋学芸員打合せ	-	-
30	8月25日	第11回地域ビジョン委員会・JCLルーム（リハーサル）	4名	4名
31	8月26日	【打合せ】植薄前免田町長打合せ	-	-
32	8月28日	【打合せ】人吉市企画部打合せ	-	-
33	9月2日	第12回地域ビジョン委員会・JCLルーム（リハーサル）	5名	4名
34	9月5日	第13回地域ビジョン委員会・JCLルーム（リハーサル）	3名	5名
35	9月6日	球磨地域のあり方を考えるシンポジウム・あさぎり町せきれい館	161名	19名
36	9月8日	【調整】球磨地域振興局、人吉市、植薄氏、鶴嶋学芸員、成尾球磨郡町村会長	-	-
37	10月10日	【打合せ】人吉市企画部打合せ	-	-
38	10月16日	【打合せ】田中人吉市長面談	-	-
39	10月16日	【打合せ】球磨地域振興局打合せ	-	-
40	10月21日	【打合せ】人吉市企画部打合せ	-	-
41	10月30日	10月度一般公開例会「人吉市長口・マニフェスト進捗報告会」人吉総合センター	108名	18名
42	11月7日	第13回地域ビジョン委員会・JCLルーム	2名	4名

事業内容報告

市町村合併として球磨地域が抱える問題に対して、メンバー一丸となって取り組みました。例会を含め延べ4回の勉強会を重ね、市町村合併の必要性及び将来の課題について深く議論が出来たと思えます。

市町村合併シンポジウム開催にあたっては、熊本県市町村と連携して事業を行うことができ、今後、より一層行政の協力関係が重要であると認識しました。また、この事業を通じて、人吉JICが市町村の課題に積極的にかわかることで、地域住民に対し、これからの球磨地域がどうあるべきかを考える機会を作ることができたと思えます。

人吉市長口一丸・マニフェスト進捗報告会では、当初5月開催の予定が人吉市の都合で延期となり、10月の開催となりましたが、田中人吉市長及び人吉市の協力のもと、公開討論会時のマニフェストに対しての進捗状況を説明していただきました。次年度に予定していた検証大会では、人吉市を含めた、各種団体の協力が不可欠です。多くの参加者にこまめにいただき、また開催の告知で協力を促すことで、一定の道筋ができたものと思えます。人吉市長におかれましては、検証大会への協力も約束していただき、次年度の事業開催へ向う、弾みがついたと思えます。

残念ながら、地域資源の活用にスポットをあてた事業については、日程の都合で開催を断念いたしました。地域の良さや魅力を再確認できる事業ですので、次の機会に実現していきたいと思えます。

担当副理事長統括所見

当委員会が本年度「原点改起一誇りと夢を持てる地域（まち）づくりを目指して～」をテーマに、委員会名とあり球磨地域の将来を見据えた事業を行いました。なかでも球磨地域のあり方を考えるシンポジウムはもちろん、その前に行った勉強会については、県球磨地域振興局と連携し、多くの来賓と共に球磨地域の未来への責任についてコミットしました。

また、人吉市長口一丸・マニフェスト進捗報告会では、次年度に実施すべき検証大会に向け、市職員との連携はもちろん田中・信孝人吉市長の参加の確約を取り付けるなど、明確な道筋を立てることができました。

JIC活動は本来、行政とは対称的な位置にあるべきと先輩より教わったことがあり、またその必要性の一部は理解もできます。しかしながら時代は大きく変化し、経済的、引いては社会的に厳しい状況の中、球磨地域の人の精神的余裕も限界に近づきつつある今こそ、私たちが人吉JICは、球磨地域のため、また未来の子ども達のためになるペースで、新たな事業手法を提案、実行する時だと思えます。富山君は初めての委員長にもかかわらず、この時代にふさわしい変化と結果を求め、持てる能力を如何にか発揮してくれました。球磨地域振興局職員ならびに人吉市職員と幾度となく打ち合わせを重ね、綿密な資料と共に当日の進行もほぼ問題なくスムーズに実行、人吉JICにしかできない、人吉JICらしい事業を対外的にもアピールしてくれました。

中小企業地域資源活用プログラムによる公開例会は実現できず申し訳なく思いますが、明るい豊かな社会を作る上で、今年の当委員会活動は、他の人吉JICメンバーに汗を流すことの必要性をあらためて気付かせてくれたのではないのでしょうか。

ただひとつ残念なのは、大島寿一君、田坂剛彦君が一度も、委員会活動にかかわれなかった点です。この状況は当委員会に限らずJIC全体の実情であり、今後の課題です。

富山委員長はもちろん、久保田、沖松副委員長には貴重な意見、時間を提供していただきありがとうございました。また一年間、本当にお疲れ様でした。皆さんと共に過ごせたことを心から嬉しく思えます。次年度以降も今年度の経験を糧に、共に頑張りましょう。

2008年度年間事業決算書

地域ビジョン委員会

(収入の部)

科 目	予算金額	決算金額	差 額	備 考
事 業 費	400,000	206,500	193,500	
収 入 合 計	400,000	206,500	193,500	

(支出の部)

科 目	予算金額	決算金額	差 額	備 考
6月度一般公開例会「球磨地域のあり方を考える勉強会」	30,000	8,400	21,600	
球磨地域のあり方を考えるシンポジウム	300,000	141,538	158,462	
10月度一般公開例会「人吉市長口一丸・マニフェスト進捗報告会」	40,000	32,935	7,065	
一般公開例会（地域資源活用）	30,000	0	30,000	事業未実施
予 備 費	0	0	0	
支 出 合 計	400,000	182,873	217,127	
		余剰金	23,627	

2008年度委員会事業報告書

青少年育成委員会

委員長 万江 真一郎
担当副理事長 馴田 崇晴

2008年度委員会報告

回数	月 日	委員会並びに事業開催場所	出席者数	欠席者数
1	10月 2日	第1回委員会 東西コムセン	4名	0名
2	10月 17日	第2回委員会 JICルーム	4名	3名
3	11月 7日	第3回委員会 JICルーム	3名	4名
4	11月 26日	第4回委員会 JICルーム	4名	3名
5	2月 1日	第5回委員会・周年事業部会 JICルーム	5名	3名
6	2月 14日	第6回委員会・周年事業部会 JICルーム	5名	5名
7	3月 3日	第7回委員会・周年事業部会 JICルーム	6名	2名
8	3月 31日	第8回委員会・周年事業部会 JICルーム	6名	2名
9	4月 7日	第9回委員会・周年事業部会 JICルーム	8名	2名
10	5月 8日	事業：ウンスンカルタ 東小	21名	-
11	5月 11日	第10回委員会・周年事業部会 カルチャーパレス	6名	2名
12	5月 15日	事業：ウンスンカルタ 東小	22名	-
13	5月 21日	第11回委員会・周年事業部会 丸恵本館	5名	3名
14	5月 22日	事業：ウンスンカルタ 東小	21名	-
15	5月 24日	第12回委員会・周年事業部会 JICルーム	8名	3名
16	5月 29日	事業：ウンスンカルタ 東小	20名	-
17	6月 12日	事業：ウンスンカルタ 東小・東間小	37名	-
18	6月 13日	事業：ウンスンカルタ 西小	15名	-
19	6月 19日	事業：ウンスンカルタ 東小・中原小	37名	-
20	6月 26日	事業：ウンスンカルタ 東小・東間小・中原小	55名	-
21	6月 27日	事業：ウンスンカルタ 西小	13名	-
22	6月 30日	第13回委員会・周年事業部会 丸恵本館	8名	2名
23	6月 30日	事業：ウンスンカルタ 中原小	17名	-
24	7月 3日	事業：ウンスンカルタ 東間小	17名	-
25	7月 10日	事業：ウンスンカルタ 東小・中原小	39名	-
26	7月 11日	事業：ウンスンカルタ 西小	16名	-
27	7月 17日	事業：ウンスンカルタ 東間小	19名	-
28	7月 22日	第14回委員会「いさぶろう」号車内と周辺駅	4名	3名
29	9月 5日	第18回委員会 丸恵本館	5名	2名
30	10月 1日	第16回委員会 JICルーム	5名	2名
31	10月 16日	事業：ウンスンカルタ 東間小	19名	-
32	10月 23日	事業：ウンスンカルタ 中原小	18名	-
33	10月 30日	事業：ウンスンカルタ 中原小・東間小	34名	-
34	11月 7日	第17回委員会「いさぶろう」号車内と周辺駅	4名	3名
35	11月 10日	第18回委員会 丸恵本館	4名	3名
36	11月 13日	事業：ウンスンカルタ 東間小・中原小	35名	-
37	11月 15日	第19回委員会 JICルーム	8名	2名
38	11月 16日	事業：相良藩こども塾「肥薩線を知ろう」	71名	-
39	11月 19日	第20回委員会 丸恵本館	5名	2名
40	11月 24日	第21回委員会 丸恵本館	4名	3名
41	11月 27日	事業：ウンスンカルタ 東間小	20名	-
42	12月 11日	事業：ウンスンカルタ 東間小	18名	-
43	12月 18日	事業：ウンスンカルタ 東間小	18名	-

事業内容報告

本年度は「郷土愛」をテーマに活動致しました。4事業を計画しておりましたが、「わんぱく相撲 人吉場所」は、相撲協会は各団体との打合せの結果、共催団体のひとよし相撲クラブの会員数減少や開催時期の都合、さらに開催した場合、多くの参加者が見込まれないことで大々開催が困難となりました。また「思いやり事業 老人施設訪問」は、計画段階の甘さと時期的問題で開催困難となり実施できなかったことが悔やまれます。なお、実施できた事業のうち、「ウンスンカルタをこどもたちに」事業は、子どもたちにとって「地元の伝統文化継承」という堅苦しいものとしてではなく、「古いけど新しい遊び」感覚として開始直後より浸透していきました。遊びとして記憶した子どもたちが、さらに次世代へ繋げてくれるかと思えます。また「相良藩こども塾 肥薩線を知ろう」事業は、観光列車に乗り、同線内の駅や産業遺産見学を行いました。子どもたちからは「全国へ誇れるものが、こんなにも地元にあるのか」との声も聞かれ、私たちの趣旨が少しは伝えることができたものと思えます。両事業とも「ふるさとへの誇り」を持ってもらう一助ができたのではないかと信じています。私たちの実施事業は、たくさんの方々や諸団体の多大なるご協力により実施することができました。本当にありがとうございました。また発想豊かで積極的・協力的な委員会メンバーに支えられ1年間やってこれました。改めて感謝申し上げます。

担当副理事長統括所見

今年度、青少年育成委員会は、万江委員長を中心として、「郷土愛」をテーマに1年間活動して参りました。「ウンスンカルタをこどもたちに」では、1・2学期を通じたのロングラン事業で、委員会やメンバーの協力もあり多くの子ども達が熊本県指定の重要無形民俗文化財の継承者として育ちました。

人吉JIC創立50周年記念事業、肥薩線開通100周年記念の「相良藩こども塾 - 肥薩線を知ろう -」では、子ども達に産業遺産である肥薩線を見て、触れて、乗って体験してもらいました。子ども達からは、自分たちの身近に多くの誇れる素晴らしいものがあることに気付いたという話も聞いております。「わんぱく相撲 人吉場所」「思いやり事業 老人施設訪問」の2事業は、実現できなかったことに関しましては、大変残念です。私も責任を感じております。いままのアイデアを取り入れながら計画を進めていけば、実施可能だったのかもかもしれません。素晴らしい事業の成果のウラには、委員会の強力なサポートとメンバーの協力があったことは言うまでもありません。一年間ほんとうにお疲れ様でした。そしてありがとうございました。

2008年度年間事業決算書

青少年育成委員会

(収入の部)

科 目	予算金額	決算金額	差 額	備 考
事 業 費	250,000	445,482	195,482	
登 録 料 収 入				
助 成 金 収 入				
収 入 合 計	250,000	445,482	195,482	

(支出の部)

科 目	予算金額	決算金額	差 額	備 考
第4回わんぱく相撲 人吉場所	0	0	0	事業未実施
思いやり事業「老人施設訪問」	35,000	0	35,000	事業未実施
相良藩こども塾「肥薩線を知ろう」(省略)	150,000	398,482	248,482	
ウンスンカルタをこどもたちに	65,000	10,000	55,000	
予 備 費	0	0	0	
支 出 合 計	250,000	408,482	158,482	
余剰金		37,000		

(社)人吉青年会議所創立50周年記念 肥薩線開通100周年記念事業

2008 年度 委員会 事業報告書

スキルアップ委員会

委員長 山口 智充
担当副理事長 川口 広喜

2008 年度 委員会報告

回数	月 日	委員会並びに事業開催場所	出席者数	欠席者数
1	10月 2日	第1回委員会・J Cルーム	5名	1名
2	11月 6日	第2回委員会・J Cルーム	3名	4名
3	12月 6日	第3回委員会・J Cルーム	3名	3名
4	12月 12日	第4回委員会・J Cルーム	2名	4名
5	1月 4日	第5回委員会・J Cルーム	3名	3名
6	1月 15日	第6回委員会・J Cルーム	5名	1名
7	3月 6日	第7回委員会・J Cルーム	2名	4名
8	3月 25日	第8回委員会・J Cルーム	4名	2名
9	4月 2日	第9回委員会・J Cルーム	3名	3名
10	4月 3日	創立50周年記念事業お茶会例会	162名	19名
11	5月 29日	第10回委員会・J Cルーム	4名	2名
12	6月 2日	第11回委員会・J Cルーム	4名	2名
13	7月 24日	第12回委員会・J Cルーム	3名	3名
14	8月 25日	第13回委員会・J Cルーム	3名	3名
15	9月 18日	9月度学習例会「企業再生と再編の手法」	30名	11名
16	9月 29日	第14回委員会・J Cルーム	4名	2名
17	10月 29日	第15回委員会・J Cルーム	2名	4名
18	11月 20日	11月度例会「未来のリーダー達へ」	19名	20名
19	11月 28日	第16回委員会・J Cルーム	2名	4名

事業内容報告

当委員会では、3例会を担当させて頂きました。継続事業である「創立50周年記念事業お茶会例会」では、石野公園来場者や、近隣の老人保健施設の方々等へのお茶の振舞を通して作法やおもてなしの心を学び、併せて久保田弘人氏よりお茶に関する話や延岡先輩より人吉JCの歴史やエピソードなどを聞かせて頂き、さらなる活動意欲の増進と、メンバーとの協力的な意識が向上したと思います。「9月度学習例会」では企業の再生及び再建を多く手がけてこられた本松氏に「企業再生と再編の手法」と題し講話頂きました。参加者各々が自社の運営状況を見つめ直し、今後の運営強化に繋がるものと思います。「11月度例会」では、現役メンバーにより、青年会議所活動での経験が地域活動や仕事にどう繋がったのが、今後、人吉青年会議所に期待すること等を話して頂き、青年会議所の運動に対する理解が深まったものと思います。さらに次年度理事長予定者より次年度への思いを話して頂き、メンバーが来年度更に(社)人吉青年会議所運動の気運を盛り上げ、JYCEEとして、地域の将来を担うリーダーとしての高い志を持ち、未来に向かって、明るく豊かな社会の実現を目指し運動意識を高め、行動につなげられるものと思います。最後に、ご協力・参加頂いた皆様に感謝申し上げます。

担当副理事長統括所見

今年度スキルアップ委員会はその名の通り LOM メンバーの「スキルアップ」をテーマに事業を執り行なってまいりました。山口委員長は、当初こそ不慣れゆえの戸惑いなどもみられましたが、この1年での成長を感じさせるものでした。4月に石野公園で行ったお茶会例会では、山口委員長の思いから老人保健施設等の方々をご招待した事で、参加した LOM メンバーだけでなく、参加いただいた方々からも大変好評を得る事が出来ました。9月の学習例会では、自分達が活性化すれば地域も活性化出来るという思いから、企業の再生と再編の手法を学ぶために、福岡より講師をお招きして例会を行いました。自分達の会社の事はよくわかっているつもりでも、違う視点からの見方がある事が分かり、新たな気付きとなりました。11月の例会では JYCEE としての意識の向上を計るため、現役で長く活躍された鳥越特別理事に JC の活動を行って来た事が仕事や地域での活動に役立った事等を話して頂き、石蔵次年度理事長に次年度の抱負を語って頂いた事は、多くの気付きを LOM メンバーに与える事が出来たと思います。最後に田中理事長を始め LOM メンバーの皆様へ感謝を申し上げ、所見とさせて頂きます。

2008 年度 年間事業決算書

スキルアップ委員会

(収入の部)

科目	予算金額	決算金額	差 額	備 考
事業費	170,000	152,100	17,900	
雑収入	0	5,000	5,000	寄付金 (お茶会例会)
収入合計	170,000	157,100	12,900	

(支出の部)

科目	予算金額	決算金額	差 額	備 考
創立50周年記念事業お茶会例会	120,000	110,079	9,921	
9月度学習例会「企業再生と再編の手法」	30,000	29,597	403	
11月度例会「未来のリーダー達へ」	20,000	2,100	17,900	
予備費	0	0	0	
支出合計	170,000	141,776	28,224	
	余剰金	15,324		

2008 年度 委員会 事業報告書

仲間づくり推進会議

議長 堤 政樹
担当副理事長 川口 広喜

2008 年度 委員会報告

回数	月 日	委員会並びに事業開催場所	出席者数	欠席者数
1	11 月 6 日	仲間づくり推進会議 事務局にて	13 名	2 名
2	11 月 12 日	仲間づくり推進会議 事務局にて	4 名	8 名
3	1 月 15 日	仲間づくり推進会議 事務局にて	3 名	8 名
4	1 月 22 日	仲間づくり推進会議 事務局にて	3 名	8 名
5	1 月 27 日	新年会 あゆの里にて	89 名	12 名
6	2 月 8 日	厄入り寿ぎの宴 入吉旅館にて	28 名	20 名
7	4 月 24 日	仲間づくり推進会議 事務局にて	5 名	8 名
8	5 月 1 日	会員拡大会議 東西コモンセンにて	24 名	15 名
9	5 月 6 日	仲間づくり推進会議 事務局にて	3 名	8 名
10	5 月 8 日	仲間づくり推進会議 事務局にて	3 名	8 名
11	5 月 10 日	仲間づくり推進会議 事務局にて	3 名	8 名
12	9 月 17 日	仲間づくり推進会議 事務局にて	3 名	8 名
13	12 月 6 日	望年会 いず美にて	73 名	11 名

事業内容報告

本年度、仲間づくり推進会議では、1月の新年会、2月の厄入り寿ぎの宴、12月望年会と会員相互の交流とシニアクラブとの交流、また家族同士の親睦を深める事業をさせて頂きました。厄入りでは参加者が少なかつたりと、それぞれに問題等が多々ありましたが、メンバーの皆様のおかげで比較的盛り上がった交流事業になかったかと思えます。ただ、メインの事業でありました拡大がうまくいかなかった事、委員長として責任を感じています。5月には、内田ブロック会長はじめ、ブロック役員の皆様にお越し頂き、会員拡大会議を開催しました。会議では40名の入会見込者をご紹介頂きました。メンバーの皆様には、創立50周年事業の1ヶ月前で多忙な期間にもかかわらず、会議への参加、その後のアプローチ等、動いて頂き感謝します。拡大会議で作成しました見込者リスト等を次年度へ引継ぎをし、本年度の反省を踏まえ今後の拡大と一緒に取り組んで行きたいと思えます。1年間支えて頂きました、川口副理事長、高瀬副議長、メンバーの皆様へ感謝いたします。

担当副理事長統括所見

今年の仲間づくり推進会議のメンバーは LOM 内からの出向という形で始まり、堤議長と高瀬副議長だけが他の委員会に所属をしていなかった訳ですが、そのような中、新年会、厄入り、会員拡大会議、望年会と事業を執り行なってまいりました。ベテランの堤議長らしく、落ち着いた活動ぶり、安心感と信頼感を感じました。しかし残念ながら、会員の拡大については本年度の会員拡大は1名と不振に終わりました。JCの活動をする上で会員の拡大は重要な要素である以上、今年度の反省をしっかりと次年度へ引継ぎ、次年度以降の会員の拡大に繋がればと思います。また、計画していた、会員交流事業は執り行なう事ができず、大変申し訳なく思えます。最後にこの1年間、田中理事長を始め LOM メンバーの皆様へ感謝申し上げ、所見とさせて頂きます。

2008 年度 年間事業決算書

仲間づくり推進会議

(収入の部)

科目	予算金額	決算金額	差 額	備 考
事業費	0	0	0	
登録料収入	0	800,000	800,000	
雑収入	0	80,000	80,000	新年会お樽
収入合計	0	880,000	880,000	

(支出の部)

科目	予算金額	決算金額	差 額	備 考
会員拡大	0	0	0	
新年会	0	315,264	315,264	
厄入り寿ぎの宴	0	179,213	179,213	
望年会	0	215,000	215,000	
会員交流	0	0	0	
予備費	0	0	0	
支出合計	0	709,477	709,477	
余剰金		170,523		

2008 年度 委員会 事業報告書

創立 50 周年統括委員会

委員長
担当特別理事

深野 誠一
鳥越 英夫

2008 年度 委員会報告

回数	月 日	委員会並びに事業開催場所	出席者数	欠席者数
1	10 月 2 日	50 周年委員会 (鳥越商店)	3 名	0 名
2	10 月 9 日	50 周年委員会 (JCLルーム)	3 名	0 名
3	11 月 12 日	50 周年委員会 (JCLルーム)	3 名	0 名
4	11 月 30 日	50 周年全体会議 (JCLルーム)	15 名	0 名
5	12 月 3 日	キャラバン部会 (JCLルーム)	6 名	1 名
6	12 月 7 日	式典部会、懇親会部会 (JCLルーム)	6 名	2 名
7	12 月 12 日	事業部会 (JCLルーム)	3 名	3 名
8	12 月 16 日	キャラバン部会 (深野酒造)	4 名	2 名
9	12 月 26 日	50 周年全体会議 (JCLルーム)	9 名	4 名
10	12 月 31 日	キャラバン部会 (JCLルーム)	4 名	2 名
11	1 月 15 日	事業部会 1,2 (JCLルーム)	7 名	5 名
12	1 月 17 日	事業部会 1 (JCLルーム)	5 名	2 名
13	1 月 21 日	50 周年全体会議 (JCLルーム)	15 名	0 名
14	2 月 13 日	牛深青年会議所キャラバン	16 名	-
15	2 月 18 日	山鹿青年会議所キャラバン	15 名	-
16	2 月 19 日	50 周年全体会議 (JCLルーム)	13 名	2 名
17	2 月 20 日	熊本青年会議所キャラバン	15 名	-
18	2 月 21 日	菊池青年会議所キャラバン	17 名	-
19	2 月 26 日	3 LOM合同例会キャラバン	29 名	-
20	3 月 7 日	50 周年全体会議 (JCLルーム)	11 名	4 名
21	3 月 18 日	人吉 JC 誕生例会	43 名	12 名
22	3 月 19 日	八代青年会議所キャラバン	11 名	-
23	3 月 21 日	50 周年全体会議 (JCLルーム)	8 名	7 名
24	3 月 29 日	記念講演部会会議	4 名	2 名
25	3 月 31 日	懇親会部会会議	5 名	2 名
26	4月4日 - 4月6日	人吉 JC 創立 50 周年事業映画「北辰斜にさすところ」 球磨地域上映会	2174 名	-
27	5 月 2 日	50 周年全体会議 (JCLルーム)	12 名	3 名
28	5 月 11 日	リハーサル例会	29 名	8 名
29	5 月 24 日	懇親会部会会議	6 名	1 名
30	6 月 1 日	50 周年全体会議 (JCLルーム)	12 名	3 名
31	6 月 2 日	50 周年全体会議 (JCLルーム)	13 名	2 名
32	6 月 3 日	50 周年全体会議 (JCLルーム)	11 名	4 名
33	6 月 4 日	50 周年全体会議 (JCLルーム)	14 名	1 名
34	6 月 5 日	50 周年全体会議 (JCLルーム)	12 名	3 名
35	6 月 6 日	50 周年全体会議 (JCLルーム)	13 名	2 名
36	6 月 7 日	社団法人人吉青年会議所創立 50 周年並びに韓国南大邱青年会議所姉妹締結 30 周年記念式典	223 名	-
37	6 月 7 日	社団法人人吉青年会議所創立 50 周年並びに南大邱青年会議所姉妹締結 30 周年記念懇親会	236 名	-
38	6 月 8 日	社団法人 人吉青年会議所 創立 50 周年記念講演会	459 名	-
39	7 月 14 日	50 周年全体会議 (JCLルーム)	11 名	4 名
40	11 月 11 日	事業部会・総務部会会議 (JCLルーム)	10 名	2 名
41	11 月 23 日	創立 50 周年事業「青井阿蘇神社国宝指定記念、奉納及び清掃活動	19 名	-

事業内容報告

50 周年統括委員会は 50 周年のキャラバンから始まり、人吉 JC 誕生例会では人吉 JC を創られた外山先輩のお参りをメンバーで行い、これまでの JC の歴史を振り返り、先輩の方達でこられた歴史に新しい人吉を創る事を誓っていただきました。記念式典、記念懇親会ではメンバー一丸となり、先輩、他 LOMメンバー、諸団体のの方々を人吉 JCMメンバー全員おもてなしの心でお呼びする事が出来ました。記念講演会では創立時の日本 JC 会頭千先輩を講師に招き、一般の方々からは、話を聞けたと大変喜んでいただきました。又、来年青井阿蘇神社での献茶式の約束も驚き次年度に繋がる記念講演会になりました。記念事業として、北辰斜めにさすところの上映会とロゴ地マップ作成をおこない、人吉の PR につなげる事が出来ました。もう一つの記念事業では、年当初人吉のためにできる物が何かと模索し、ウエルカムボード設置、食育を考えた事業を考えていしましたが実現できませんでした。そんな時、青井阿蘇神社が国宝指定を受け、記念事業としてシニアクラブ、南大邱 JC、人吉 JC で創立 50 周年記念並びに姉妹締結 30 周年記念奉納をさせていただきます。50 周年の冠事業としてお茶会、相良藩こども殿、球磨地域のあり方を考えるシンポジウムを各委員会担当で実施いたしました。記念誌では 50 年の歴史を振り返り記録に残すことが出来ました。この 1 年間 50 周年事業では理事長をはじめメンバー全員が協力して、いただいたからこそ行えた事業だと、心から感謝しています。

担当特別理事統括所見

2008 年度スローガンである「原点回帰」を念頭に置き、OB やシニアクラブとの関わりを深めることからスタートした 50 周年でした。記念事業の青井阿蘇神社奉納ではシニアクラブ、南大邱 JC との関わりや人吉 JC の運動の原点を形に残すことが出来たと思います。「50 周年だから」特別な年だから、と多くの期間事業に取り組んだ結果、理事メンバーを中心にハードな一年になったと思えますが、50 周年に現役メンバーとして在籍したことを誇りに思い、次の 60 周年の時に地域に対して LOM に対して何を還元できるかを考えて行動してほしいと思えます。

2008 年度 年間事業決算書

創立 50 周年統括委員会

(収入の部)

科 目	補正予算金額	決算金額	差 額	備 考
事 業 費	3,768,493	3,864,967	96,474	
懇 親 会 費 収 入	118,000	86,000	32,000	人吉 JC 誕生例会
雑 収 入		10,000	10,000	人吉 JC 誕生例会 副席
収 入 合 計	3,886,493	3,960,967	74,474	

(支出の部)

科 目	補正予算金額	決算金額	差 額	備 考
人吉 JC 誕生例会	128,000	74,540	53,460	
人吉 JC 創立 50 周年事業映画「北辰斜にさすところ」 球磨地域上映会	189,525	189,525	0	北辰口ケ地マップ
リハーサル例会	100,000	29,840	70,160	
式典(省略)	320,301	320,301	0	
懇親会(省略)	1,424,173	1,424,173	0	
講演会(省略)	269,065	269,065	0	
創立 50 周年事業「青井阿蘇神社国宝指定記念、奉納及び清掃活動	753,806	916,349	162,543	
創立 50 周年記念誌作成	530,000	464,160	65,840	
創立 50 周年記念式典、記念事業、懇親会のキャラバン	41,826	41,827	1	
総務部会【案内文書・全体運営】(省略)	129,797	129,806	9	
予 備 費	0	0	0	
支 出 合 計	3,886,493	3,859,586	26,907	
	余剰金	101,381		

社団法人人吉青年会議所創立 50 周年並びに韓国南大邱青年会議所姉妹締結 30 周年記念